

科目名	対象学科・学年 文学部日文2回生	担当者
書道 B		永田 誠
授業テーマ 中国と日本の書道史を学習すると同時に名筆を鑑賞し、篆書から仮名まで実技演習する。		
授業の概要と目標 中国と日本の書道史の概要を知り、篆書・隸書・楷書・行書・草書および仮名の名筆を鑑賞すると同時に臨書する。 且つ、これを通じ書体の変遷と書の真の美しさを体得し、より高度な表現と鑑賞の能力を高め、書の理論や伝統を理解する。 又、書芸術を味わう喜びと社会的意義を感得し一生涯書を愛好する心情を育成する。		
評価方法 毎時提出する清書作品を評価、期末には変体仮名のテストを実施・作品鑑賞レポート・小テスト・授業態度・出席も重視し評価に加味する。3回以上欠席した場合は、単位の取得を認めない。(遅刻3回を欠席1回とみなす。)		
テキスト 技法講座付 和漢書道史	著者 永 田 誠 (峰亭)	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容		
＜各時代を認識＞	＜書道史上の事歴を知り名筆を鑑賞＞	＜平仮名、変体仮名の基本練習と上代仮名の臨書＞
1 奈良時代以前の概要	日本最古の金文・碑文・写経を鑑賞	平仮名「いゝを」
2 奈良時代の概要	中国の六朝・晋唐の書風の影響を受けた書を鑑賞	平仮名「わゝま」
3 平安時代（初期）の概要	三筆（空海・嵯峨・橘）の書を鑑賞	平仮名「け〜ん」
4 “ ”	“ ”	変体仮名「阿〜曾」
5 平安時代（中期）の概要	三蹟（道風・佐理・行成）の書を鑑賞	変体仮名「所〜八」
6 “ ”	“ ”	変体仮名「悲〜越」
7 平安時代（後期）の概要	和様の爛熟した書を鑑賞	} 連綿の学習 (二字以上の文字 形連・意連)
8 “ ”	“ ”	
9 鎌倉時代の概要	禅宗様の書を鑑賞	
10 “ ”	“ ”	“ ” (連綿)
11 室町・桃山時代の概要	古筆手鑑について	散らし書き（蓬萊切を書く）
12 “ ”	“ ”	“ ” (升色紙を書く)
13 室町・桃山時代の概要	寛永の三筆（近衛信尹・本阿弥光悦・滝本坊昭乗）の書を鑑賞	“ ” (寸松庵色紙を書く)
14 “ ”	“ ”	高野切の二行書きを自分なりに散らし書きする
15 明治・大正時代の概要	現在の書について鑑賞する	一年間の反省と感想を書く